

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふあみていー東淀川教室			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 11日 ~ 2025年 2月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 11日 ~ 2025年 2月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が出来ている点	朝、夕のミーティング等で日々の様子を話し合い、特性に応じた支援を行っている。また、理学療法士や心理担当指導員、また言語聴覚士など、専門性の高いスタッフが、それぞれの分野からみた支援を行う事が出来ている。	専門性の高いスタッフ以外にも、更に情報共有を行う事で、より様々な角度で利用者様の特性に応じた、専門性のある支援を行っていく。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している点。	一人のスタッフが考えるのではなく、全スタッフで考える事で、内容が固定化されないように工夫している。また、週1回の利用でも、同じ活動プログラムに当たらないように、順番等も工夫している。	ミーティングでその日の活動のフィードバックを行い、更に質の高い活動プログラムを行えるように努めていく。また保護者様からのニーズ等をお聞きし、それに沿った活動内容等も検討していく。
3	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができる点。	送迎時や、LINE、または電話や必要に応じて適宜面談等を行う事で、利用者様のご自宅での様子や、園での様子を共有して頂いている。また、事業所で過ごしている様子を共有することで、現状の把握を行っている。	ご自宅等での困り事等、更に掘り下げる事で、保護者様や利用者様のニーズを見つけ出せるように努めていく。また、事業所での様子をお伝えする際に、わかりやすく保護者様に情報共有が出来るように工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているが、保護者様に伝わっていない点。	現状、定期的に訓練等を行っているが、その様子が保護者様に伝わっていない様子が見られる。	連絡帳だけではなく、写真や動画等を用いて、記録を残し、保護者様に訓練の様子等を伝えられるように、発信の仕方を工夫していく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援等が行えていない点。	保護者様同士の交流の場や、父母会、また家族様に向けてのイベント等、コロナ以降行う事が出来ていない。現状、感染症予防の観点から大人数があつまり、イベント等を実施することが難しい点が考えられる。	保護者様のニーズにを確認し、必要に応じて開催方法等を検討していく。感染予防の観点から大人数が難しければ、少人数で行える開催方法等を模索していく。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会を設けられていない点。	地域の保育園や幼稚園との交流はコロナ以降、感染症要望の観点から行う事が出来ていない。また、地域で利用者様が交流する機会等も同様に設けることが出来ていない。	保護者様のニーズにを確認し、必要に応じて開催方法等を検討していく。また、地域交流等も含めて、適宜、検討を重ねていく。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	ふあみてい一東淀川教室	公表日	R7年 3月 31日
		利用児童数	25名
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい	どちらともいえない
	19	0	0
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	0	1
適切な支援の提供	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	0	1
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	0	1
保護者への説明等	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	1	0
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	0	1
保護者への説明等	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	0	1
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	0	1
保護者への説明等	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	19	0	0
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	0	1
保護者への説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	どちらともいえない	わからぬ
	6	1	4
			8
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	0	1
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	どちらともいえない	わからぬ
	19	0	0
保護者への説明等	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	どちらともいえない	わからぬ
	9	0	5
			5
保護者への説明等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	19	0	0
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	0	1
保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	どちらともいえない	わからぬ
	19	0	0
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	どちらともいえない	わからぬ
	0	3	6
保護者への説明等			10
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	どちらともいえない	わからぬ
	18	1	0
保護者への説明等			0

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	1	引き続き継続し、迅速に対応していく。また保護者様に伝わりやすいよう努めていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	1	1	定期的に配布している活動概要またはHPもあり、再度記載内容の周知も行なっていき、取り組みの向上にも繋げていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1	鍵付きの書庫に厳重に保管し、持ち出しなどないように徹底している事を、契約時にわかりやすく説明できるよう努めていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	4	事業所でマニュアル等作成し、常設している。契約の際に保護者様に周知を徹底している。また訓練等も定期的に行なっている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	12	定期的に訓練は行なっているが、情報共有・発信に努めていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行なわれた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	1	事業所にて常設、今後も契約時にわかりやすく説明できるよう努めていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	1	事故等が発生した際は、速やかに連絡を行なう事を徹底しているが、保護者様に伝わりやすいよう努めていく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	1	お迎えに行った時の顔を見ると、とても楽しかったのが伝わります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	1	毎日教室近くになるととても喜びます。楽しんで通っているのがわかります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	1	先生方の連絡もマメにして下さっているので安心して通っています。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	ふあみていー東淀川教室	公表日	R7年 3月 31日	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい 8	いいえ 0	工夫している点 広くて使いやすい。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	はい 8	いいえ 0	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	はい 8	いいえ 0	トイレ等フラットになっており、配慮されている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	はい 8	いいえ 0	日々、掃除や消毒等を行っているので清潔である。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	はい 8	いいえ 0	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	はい 8	いいえ 0	ミーティングを通し、利用者の進捗状況を把握できるようにしている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい 8	いいえ 0	評価表だけでなく日常的にもお話しを伺っているので、引き続き支援や業務改善に繋げていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい 8	いいえ 0	日々のミーティングでスタッフ間で意見等発言する場を設けている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	はい 0	いいえ 8	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	はい 8	いいえ 0	定期的に法人内で研修を行っている。 更にスタッフ間で共有していく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	はい 8	いいえ 0	毎月、カリキュラムを一覧表にして保護者様にお渡しをしている。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	はい 8	いいえ 0	最低年2回のモニタリング時においても見直しを行っている。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	はい 8	いいえ 0	個別支援計画を作成するにあたり、原案を用いて職員で会議を行い、検討を行っている。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	はい 8	いいえ 0	日々のミーティングでスタッフ間で情報共有を行い、都度計画を確認している。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	はい 8	いいえ 0	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	はい 8	いいえ 0	保護者様との面談、それに基づきスタッフ間で会議をし、情報共有を行う事で、支援に必要な情報を集めて、具体的に内容を定めている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	はい 8	いいえ 0	意見を出し合い改善を行っている。 引き続き向上を図り、活動内容を深めていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	はい 8	いいえ 0	固定が無いよう担当者を振り分けている。 引き続き向上を図り、活動内容を深めていく。

関係機関や保護者との連携	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	午前のミーティングで、支援内容を話し合い、連携を図っている。	引き続き、ミーティング等でスタッフ間で話し合っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	午後のミーティングで、その日の支援内容や利用者様の様子等を話し合い情報共有をしている。	引き続き、ミーティング等でスタッフ間で話し合っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	ケース記録を日々残すことで、支援の検証・改善を行っている。	引き続き、ミーティング等でスタッフ間で話し合っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	最低年2回のモニタリング時においても見直しを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	その事案に関して、情報共有を行い、事業所の様子も含め、状況を理解したものが参加をしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	地域の訪問看護事業所と連携を取り、訪問看護を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	送迎時等、保育園、幼稚園の先生方と、事業所の様子を共有し、また、園での過ごしの様子等を共有して頂き、日々の支援に活かしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	必要に応じて連携を取り、助言等を受けている。	相談支援事業所を通して、他事業所との連携を深めていき、共有事項を増やしていくよう努めていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	地域の公園等に行った際に、交流を行っている。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時や、電話、また事業所での面談等で状況を共有し、状況や課題を双方共通理解が出来るよう図っている。	スタッフ間でも、共通理解が出来るようにミーティング等で、定期的に意見交換の回数を増やしていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	必要に応じて、情報提供をしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約の際、お伝えさせて頂き、その後もご質問があれば適宜ご説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	計画書を作成後、都度保護者様に確認を取り、意向に沿って作成をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	計画書に則り、保護者様に説明を行い、変更依頼があれば変更し、保護者様から同意を頂き、サイン等頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じて、事業所での面談や、電話相談、LINEにて悩み等を伺い、支援を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	現状、行っていない。	必要に応じて、都度検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	8	0	毎月スケジュールと配り、日々のカリキュラムやイベント情報等発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付きの書庫にて厳重に保管を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	口頭だけではなく、適宜文面にて内容をお伝えする。また繰り返し、情報を伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	マニュアルを周知し定期的に、訓練等を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	定期的に避難訓練等を行っている。	より安全に避難できるように訓練等の回数も増やしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約の際に、状況を確認している。また契約後も服薬等がある場合は保護者様に情報提供等お願いをしている。	情報提供されたものを再度、徹底してスタッフ間で共有する。また、実際に発作等が起きた時に対応策も改めて共有する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギーのあるものを口に入れたり、触れたりしないように配慮をしている。また、アレルギー発作が起きた場合、指示書に基づき対応を行う。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し、定期的に研修等を行い、周知し、安全管理を行っている中で支援等を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	契約の際、安全計画の取り組み内容を保護者様に説明し、周知を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	作成した際にはミーティング等で共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に法人内で研修を行っている。	定期的に行っているが、事例検討や事例の共有など事案があれば都度行っていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	該当児はないが研修や委員会などを開いて周知を行っている。	